

I 調査結果の概要

1 平成25年産花きの作付（収穫）面積及び出荷量の動向

作付（収穫）面積は、切り花類が1万5,380ha、球根類が414ha、鉢ものの類が1,796ha、花壇用苗ものの類が1,531haで、前年産に比べて切り花類、球根類、花壇用苗ものの類はそれぞれ170ha（1%）、58ha（12%）、37ha（2%）減少し、鉢ものの類は前年産並みであった。

出荷量は、切り花類が40億6,600万本、球根類が1億1,210万球、鉢ものの類が2億4,410万鉢、花壇用苗ものの類が7億1,090万本で、前年産に比べて球根類、鉢ものの類、花壇用苗ものの類はそれぞれ1,450万球（11%）、320万鉢（1%）、360万本（1%）減少し、切り花類は前年産並みであった。

表1 平成25年産花きの類別作付(収穫)面積及び出荷量(全国)

類別	作付(収穫)面積 ha	出荷量 万本(球・鉢)	対前年産比	
			作付(収穫)面積 %	出荷量 %
切り花類	15,380	406,600	99	100
球根類	414	11,210	88	89
鉢ものの類	1,796	24,410	100	99
花壇用苗ものの類	1,531	71,090	98	99

- 注：1 本年産は全国を対象に調査を実施しており、全国値は各都道府県の値を加算した（以下の表において同じ。）。
 2 球根類及び鉢ものの類は、収穫面積である。
 3 出荷量の単位は、切り花類及び花壇用苗ものの類が万本、球根類が万球、鉢ものの類が万鉢である。

2 類別・品目別の作付（収穫）面積及び出荷量の動向

(1) 切り花類

作付面積は1万5,380haで、前年産に比べて170ha（1%）減少した。品目別にみると、ガーベラが増加したものの、カーネーション、スターチス、アルストロメリア等が減少した。

出荷量は40億6,600万本で、前年産並みであった。

なお、品目別にみた出荷量の構成割合は、きくが39%、カーネーション及びばらが7%となっており、この3品目で全体の約5割を占めている。

図1 切り花類の品目別出荷量割合

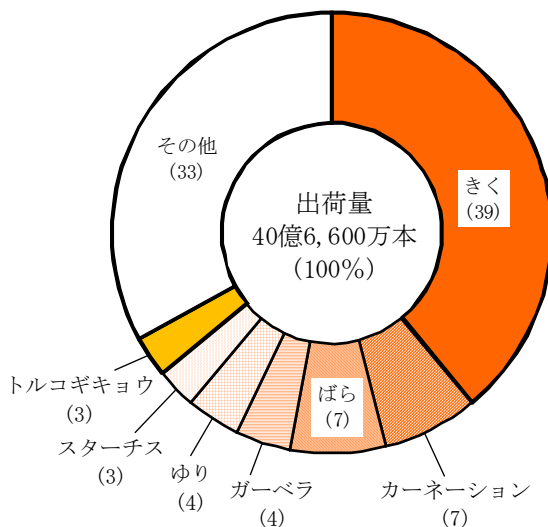


図2 切り花類の作付面積及び出荷量の推移

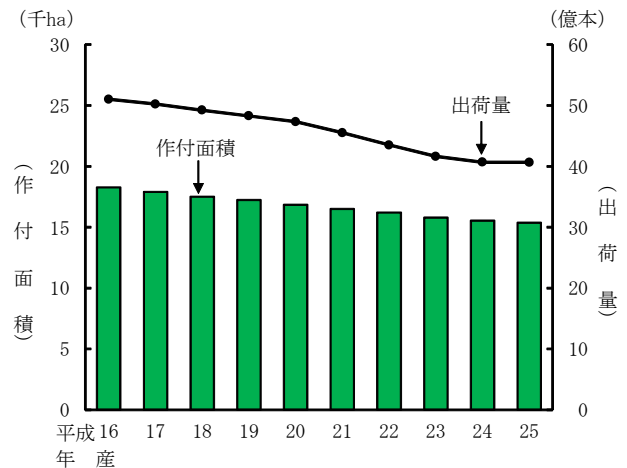


表2 平成25年産切り花類の作付面積及び出荷量(全国)

品目	作付面積	出荷量	対前年産比		参考 産出額 (平成24年)
			作付面積	出荷量	
	ha	万本	%	%	億円
切り花類	15,380	406,600	99	100	2,054
うちきく	5,096	159,900	97	100	650
うち輪ぎく	2,695	86,110	98	99	...
スプレイぎく	728	25,140	98	99	...
小ぎく	1,673	48,630	97	103	...
カーネーション	348	30,470	95	97	123
ばら	395	28,690	97	100	181
りんどう	452	8,170	nc	nc	35
洋ラン類	152	1,910	97	97	44
スターチス	192	11,860	91	95	44
ガーベラ	94	16,580	103	103	43
トルコギキョウ	431	10,210	99	100	99
ゆり	789	14,840	98	100	212
アルストロメリア	89	5,960	95	94	35
切り葉	710	14,120	100	96	43
切り枝	3,718	21,430	100	98	133

- 注：1 切り花類の値は、表章されている内訳品目以外の品目を含んだ合計値である。
 2 調査品目の見直しにより、本年産から「宿根かすみそう」を削除し「りんどう」を追加したため、対前年産比を算出していない。
 3 産出額は、農林水産省大臣官房統計部『平成24年生産農業所得統計』による（以下の表において同じ。）。

ア きく

作付面積は5,096haで前年産に比べて134ha（3%）減少した。

出荷量は15億9,900万本で、前年産並みであった。

なお、都道府県別にみた出荷量の構成割合は、愛知県が29%、沖縄県が19%、福岡県が7%、鹿児島県が6%となっており、この4県で全国の約6割を占めている。

また、品目別に見た出荷量の構成割合は、輪ぎくが54%、小ぎくが30%、スプレイぎくが16%となっている。

図3 きくの都道府県別出荷量割合

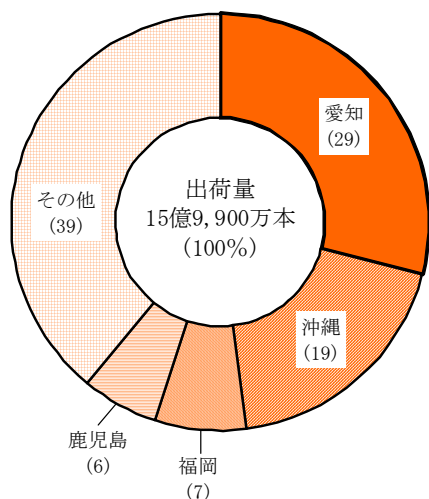


図4 きくの品目別出荷量割合

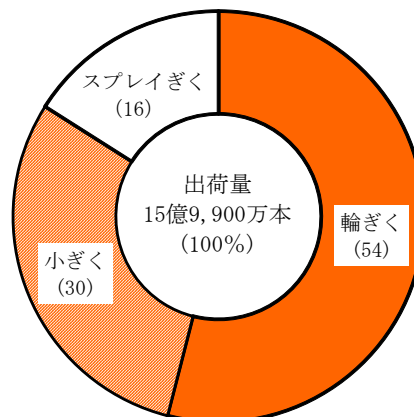


図5 きくの作付面積及び出荷量の推移

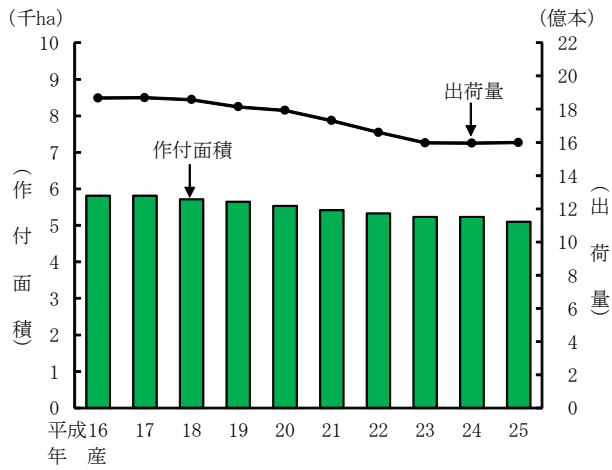


図6 輪ぎくの作付面積及び出荷量の推移

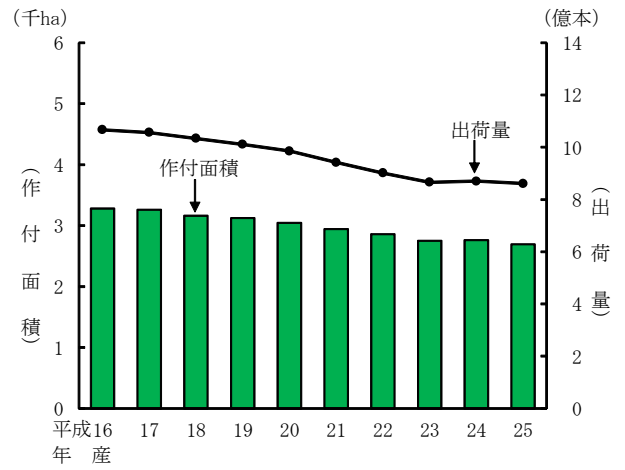


図7 スプレイぎくの作付面積及び出荷量の推移

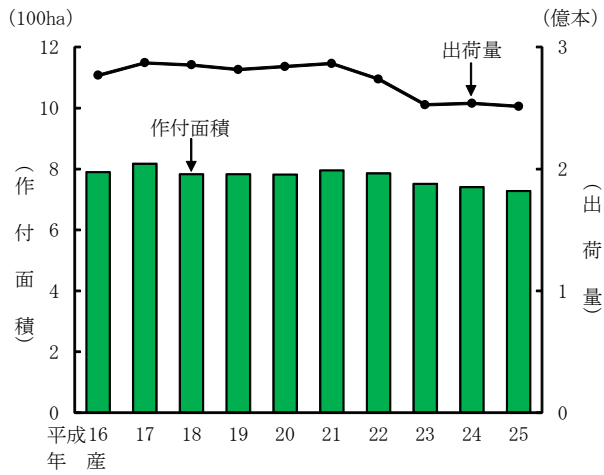
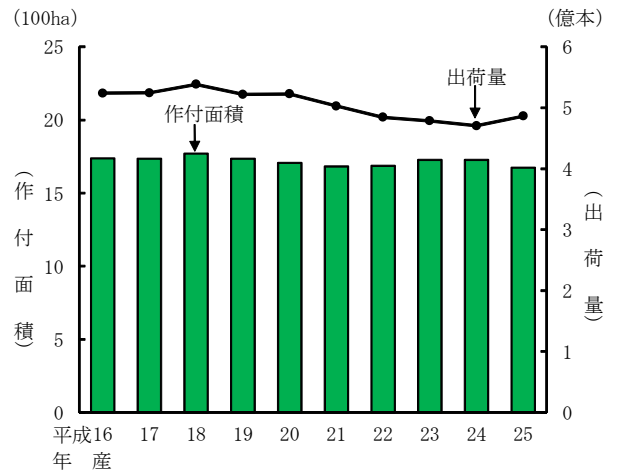


図8 小ぎくの作付面積及び出荷量の推移



イ カーネーション

作付面積は348haで、前年産に比べて19ha（5%）減少した。これは、燃油価格の高騰に伴う規模の縮小、他作物への転換等による。

出荷量は3億470万本で、前年産に比べて960万本（3%）減少した。これは、春期の生育が良好であったものの、作付面積が減少したことによる。

なお、都道府県別にみた出荷量の構成割合は、長野県が18%、愛知県が17%、兵庫県が12%、北海道が10%、千葉県が9%、長崎県が6%となっており、この6県で全国の約7割を占めている。

図9 カーネーションの都道府県別出荷量割合

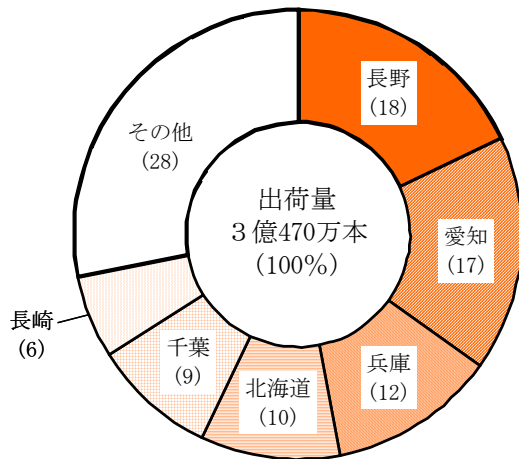
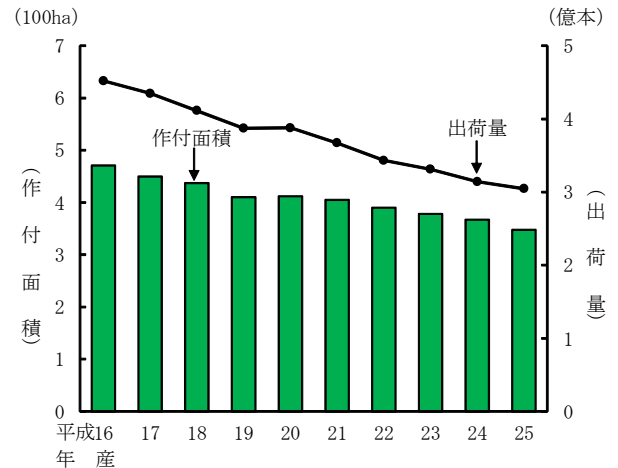


図10 カーネーションの作付面積及び出荷量の推移



ウ ばら

作付面積は395haで、前年産に比べて14ha（3%）減少した。これは、燃油価格の高騰に伴う規模の縮小等による。

出荷量は2億8,690万本で、前年産並みであった。これは、作付面積はやや減少したものの、冬の生育が良好であったことによる。

なお、都道府県別にみた出荷量の構成割合は、愛知県が17%、静岡県が9%、福岡県が7%、山形県が6%、愛媛県が5%となっており、この5県で全国の約4割を占めている。

図11 ばらの都道府県別出荷量割合

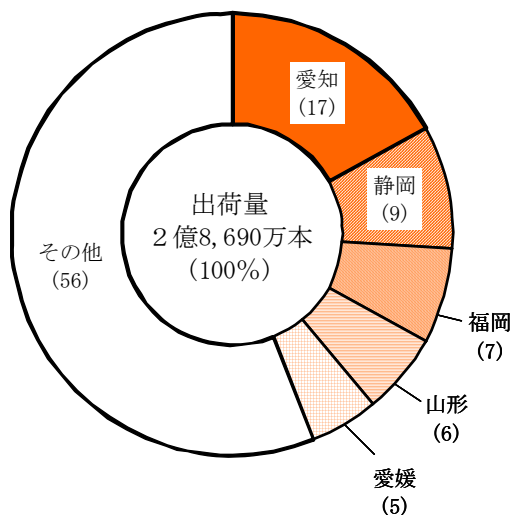
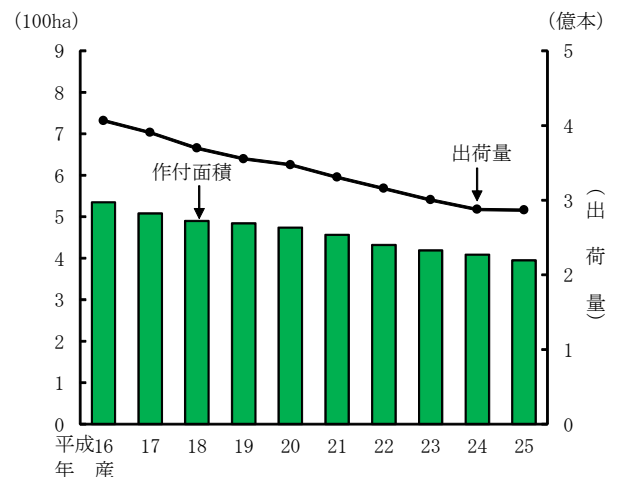


図12 ばらの作付面積及び出荷量の推移



エ ガーベラ

作付面積は94haで、前年産に比べて3ha（3%）増加した。これは、需要の増加に伴う規模の拡大による。

出荷量は1億6,580万本で、前年産に比べて410万本（3%）増加した。これは、作付面積の増加による。

なお、都道府県別にみた出荷量の構成割合は、静岡県が38%、福岡県が15%、愛知県が10%、和歌山及び千葉県が8%となっており、この5県で全国の約8割を占めている。

図13 ガーベラの都道府県別出荷量割合

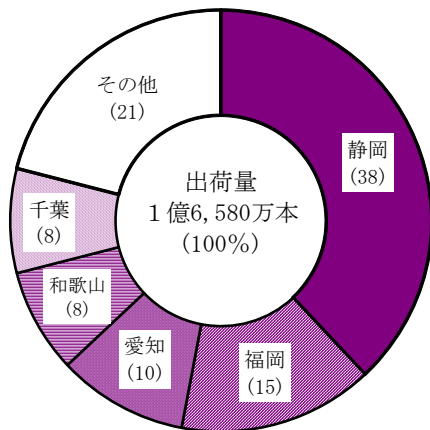
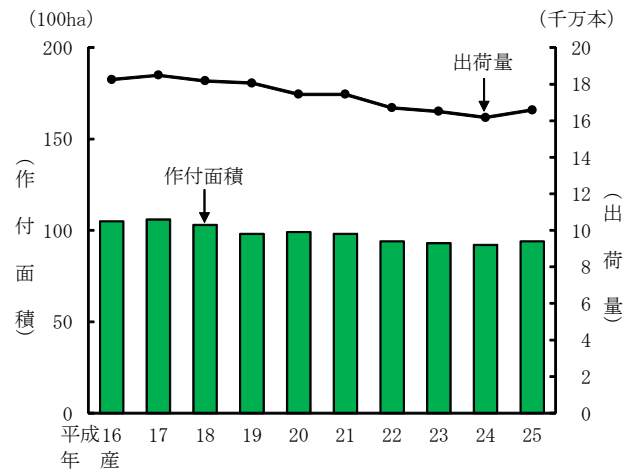


図14 ガーベラの作付面積及び出荷量の推移



オ ゆり

作付面積は789haで、前年産に比べて16ha（2%）減少した。

出荷量は1億4,840万本で、前年産並みであった。

なお、都道府県別にみた出荷量の構成割合は、埼玉県が19%、高知県が12%、新潟県が11%、千葉県及び鹿児島県が6%、宮崎県及び福岡県が5%となっており、この7県で全国の約6割を占めている。

図15 ゆりの都道府県別出荷量割合

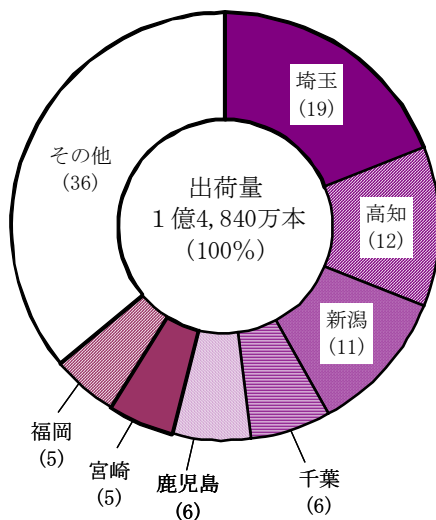
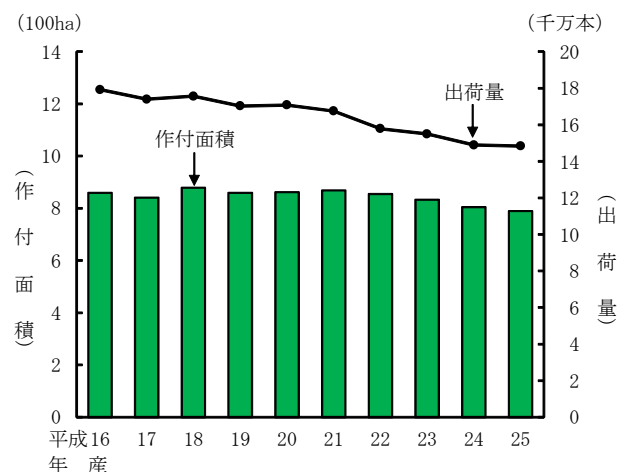


図16 ゆりの作付面積及び出荷量の推移



(2) 球根類

収穫面積は414haで、前年産に比べて58ha（12%）減少した。これは、需要の減少に伴う規模の縮小等による。

出荷量は1億1,210万球で、前年産に比べて1,450万球（11%）減少した。これは、収穫面積の減少による。

なお、都道府県別にみた出荷量の構成割合は、鹿児島県が24%、新潟県が21%、富山県が18%、愛媛県が12%、宮崎県が7%、茨城県が5%となっており、この6県で全国の約9割を占めている。

表3 平成25年産球根類の収穫面積及び出荷量(全国)

品目	収穫面積	出荷量	対前年産比		参考 産出額 (平成24年)
			収穫面積	出荷量	
	ha	万球	%	%	億円
球根類計	414	11,210	88	89	25

図17 球根類の都道府県別出荷量割合

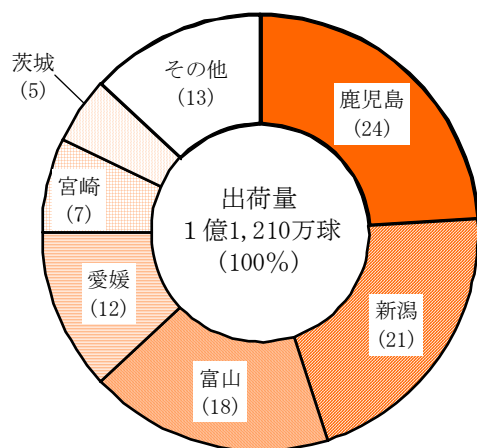
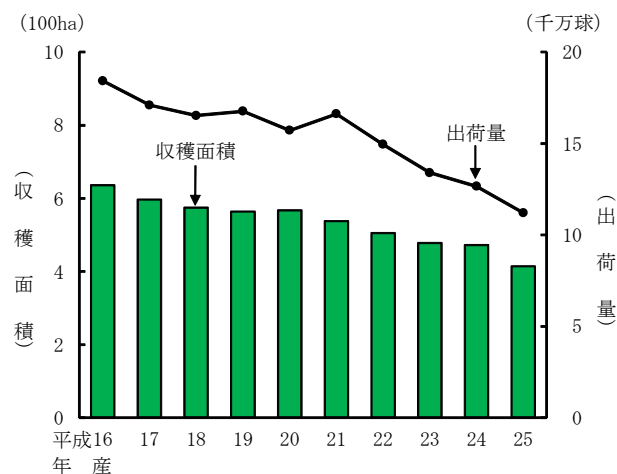


図18 球根類の収穫面積及び出荷量の推移



(3) 鉢ものの類

収穫面積は1,796haで、前年産並みであった。

出荷量は2億4,410万鉢で、前年産に比べて320万鉢（1%）減少した。

なお、品目別にみた出荷量の構成割合は、花木類が21%、観葉植物が19%、シクラメンが8%、洋ラン類が7%となっており、この4品目で全体の半分以上を占めている。

表4 平成25年産鉢ものの類の収穫面積及び出荷量(全国)

品目	収穫面積 ha	出荷量 万鉢	対前年産比		参考 産出額 (平成24年) 億円
			収穫面積 %	出荷量 %	
鉢ものの類	1,796	24,410	100	99	974
うちシクラメン	203	1,920	98	95	90
洋ラン類	219	1,620	97	95	320
観葉植物	323	4,530	99	98	122
花木類	426	5,010	97	94	163

注：鉢ものの類の値は、表章されている内訳品目以外の品目を含んだ合計値である。

図19 鉢ものの類の品目別出荷量割合

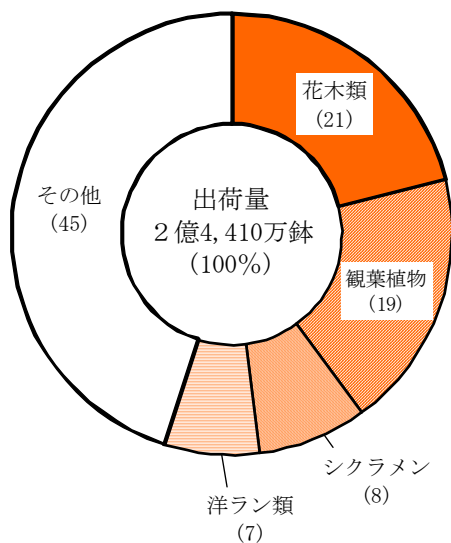
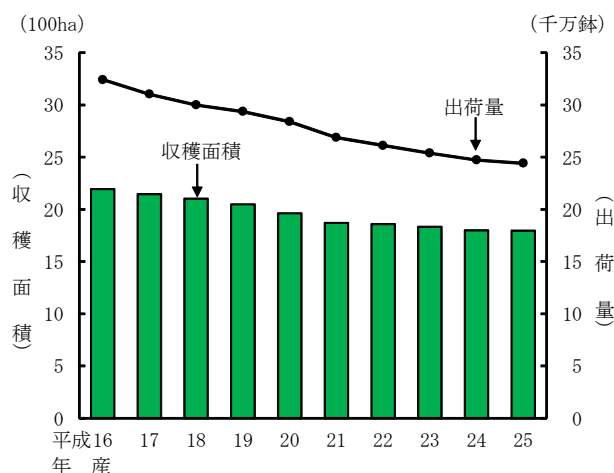


図20 鉢ものの類の収穫面積及び出荷量の推移



ア シクラメン

収穫面積は203haで、前年産に比べて4 ha（2%）減少した。

出荷量は1,920万鉢で、前年産に比べて100万鉢（5%）減少した。これは、収穫面積の減少及び鉢の大型化による。

なお、都道府県別にみた出荷量の構成割合は、長野県が15%、愛知県が11%、栃木県及び千葉県が6%、茨城県、福岡県及び福島県が5%となっており、この7県で全国の約5割を占めている。

図21 シクラメンの都道府県別出荷量割合

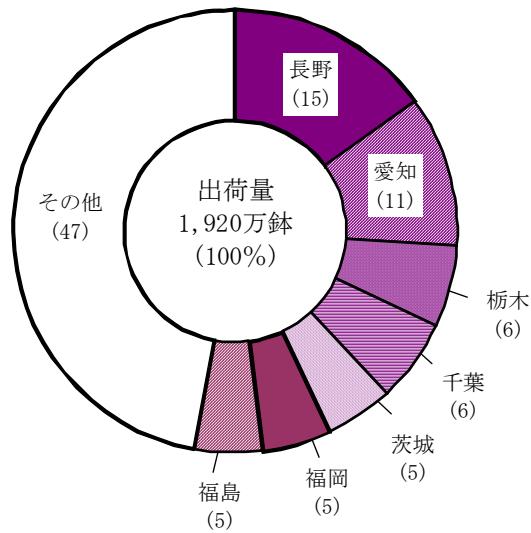
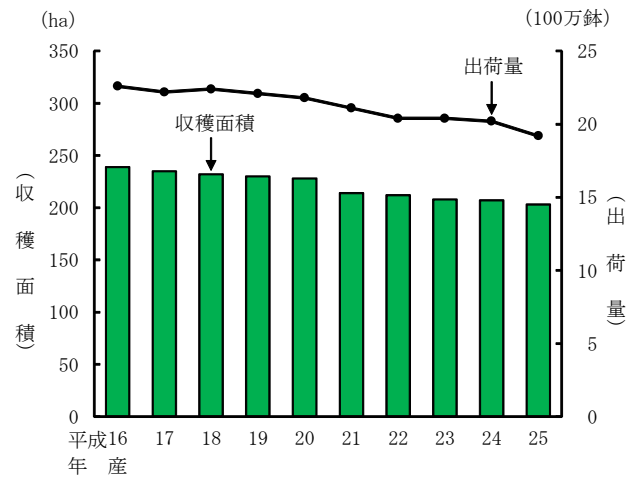


図22 シクラメンの収穫面積及び出荷量の推移



イ 洋ラン類

収穫面積は219haで、前年産に比べて6 ha（3%）減少した。これは、燃油価格の高騰に伴う規模の縮小等による。

出荷量は1,620万鉢で、前年産に比べて80万鉢（5%）減少した。これは、収穫面積の減少による。

なお、都道府県別にみた出荷量の構成割合は、愛知県が23%、熊本県が10%、福岡県が9%、埼玉県が6%、山梨県及び静岡県が5%となっており、この6県で全国の約6割を占めている。

図23 洋ラン類の都道府県別出荷量割合

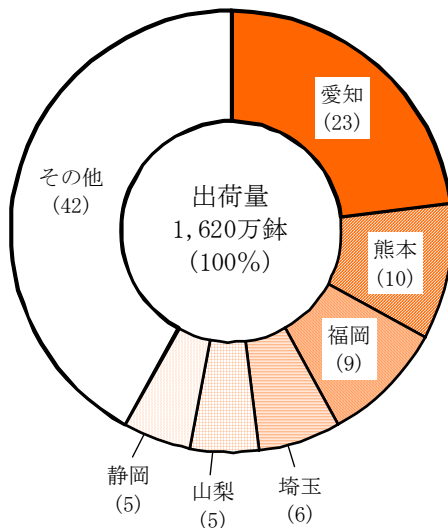
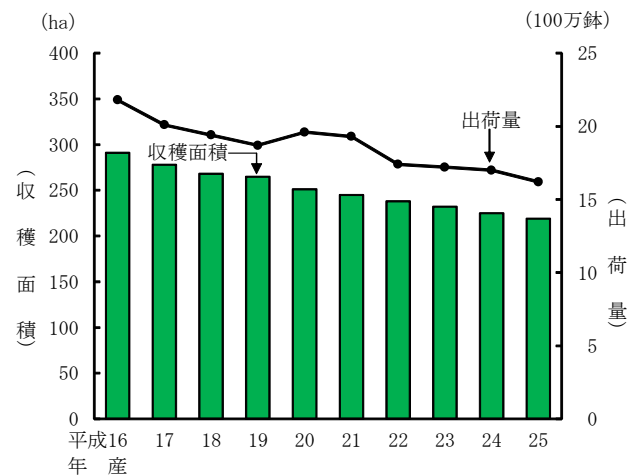


図24 洋ラン類の収穫面積及び出荷量の推移



(4) 花壇用苗もの類

作付面積は1,531haで、前年産に比べて37ha（2％）減少した。

出荷量は7億1,090万本で、前年産に比べて360万本（1％）減少した。

なお、都道府県別にみた出荷量の構成割合は、愛知県が9％、千葉県及び埼玉県が8％、福岡県及び奈良県が5％となっており、この5県で全体の約4割を占めている。

表5 平成25年産花壇用苗もの類の作付面積及び出荷量(全国)

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比		参 考 産 出 額 (平成24年)
			作 付 面 積	出 荷 量	
	ha	万本	%	%	億円
花 壇 用 苗 も の 類	1,531	71,090	98	99	327
う ち パ ン ジ ー	300	15,050	98	99	56

注：花壇用苗もの類の値は、表章されている内訳品目以外の品目を含んだ合計値である。

図25 花壇用苗もの類の都道府県別出荷量割合

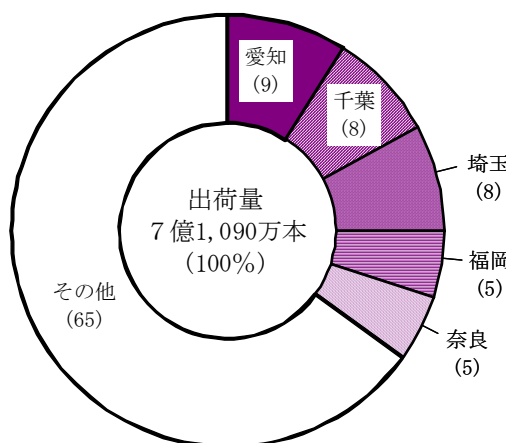
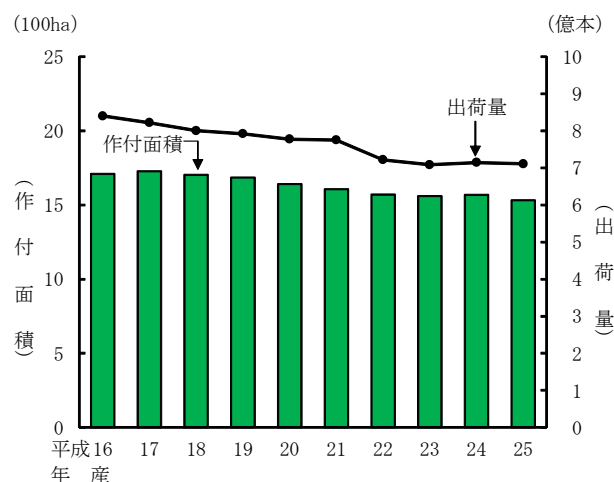


図26 花壇用苗もの類の作付面積及び出荷量の推移



このうちパンジーについては、作付面積は300haで、前年産に比べて6ha（2％）減少した。

出荷量は1億5,050万本で、前年産に比べて120万本（1％）減少した。

なお、都道府県別にみた出荷量の構成割合は、埼玉県が8％、神奈川県が7％、奈良県及び愛知県が6％、千葉県が5％となっており、この5県で全体の約3割を占めている。

図27 パンジーの都道府県別出荷量割合

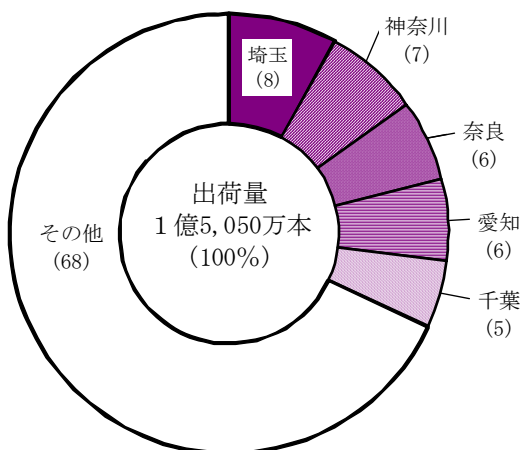


図28 パンジーの作付面積及び出荷量の推移

